

Total Care Management Forum

～高齢者に対する適切な医療提供を考える～

謹啓

時下、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

最近戦後ベビーブーム世代が2015年に前期高齢期(65～74歳)を迎え、2025年には高齢者人口がピークの3500万人に達すると様々なメディアにてクローズアップされております。神奈川県の高齢者人口増加は2002年(129.9万人)、2015年(208.8万人)と予測されており、全国第3位の増加率(60.7%)となることが予想されております。

このような社会の高齢化に伴い、アルツハイマー病や骨粗鬆症患者の増加が社会問題となってまいります。厚生労働省研究班の調査では、65歳以上の高齢者のうち、認知症の人は推計15%で、2012年時点で約462万人、認知症になる可能性がある軽度認知障害(MIC)の高齢者も約400万人いると推計されています。65歳以上の4人に1人が認知症とその“予備軍”となり、さらに骨粗鬆症による骨折は、脳卒中と共に高齢者の寝たきり状態の直接的原因となり、老人医療費高騰の一因となっています。間近に迫った「2025年問題」を見据えて、高齢者を取り巻く環境を予想し、Total Careを考える機会として下記の学術講演会を企画させて頂きました。つきましてはご多忙の所大変恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

日時 平成27年9月7日(月) 19:20～

場所 川崎商工会議所 TEL 044-244-5941
〒210-0007 神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-2川崎
フロンティアビル2階

情報提供

19:20～

BRIDGE コンセプトビデオ

Opening Remarks

19:30～19:35

鈴木医院 院長 鈴木 真 先生

教育講演

19:35～20:05

座長 関口医院 院長 関口 博仁 先生

『ロコモティブシンドロームへの対応』

演者 川崎幸病院 整形外科 副院長 原 淳 先生

特別講演

20:05～21:05

座長 川崎幸クリニック 院長 杉山 孝博 先生

『高齢者のTotal Management ～フレイルにならないために～』

演者 東京大学大学院医学系研究科 加齢医学(老年病科)教授 秋下 雅弘 先生

Closing Remarks

21:05～21:10

川崎市立川崎病院 神経内科部長 野崎 博之 先生

*日本医師会生涯教育講座1.5単位の取得を予定しております。

*カリキュラムコード: 29(認知能の障害)、62(歩行障害)、82(生活習慣)

当日は軽食をご用意しております。ご参加頂いた確認のため、ご施設・ご芳名のご記入をお願い申し上げます。

ご記入頂いた施設名・ご芳名は医薬品及び医学・薬学に関する情報提供の為に利用させて頂く事がございます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

共催: 川崎市医師会 川崎市内科医会 川崎市外科医会 第一三共株式会社